

2025年度

二チイキッズおおみや保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	全職員が個々に課題をだした後、話し合いにより課題を抽出、明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	定期的に「保育理念」を唱和する機会を設けることで、職員一人ひとりが理念を確認し、「おもいっきり遊ぶ」という理念に即した保育環境を整えるよう心掛けた。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの個性や発達段階を全職員で常に共有し、日々のルーティンが身につくよう適切な援助を行うよう努めた。また、毎月の食育も、子どもがより楽しめる内容へと改善し、食への興味関心につなげた。
保護者に対する支援	保護者のニーズをふまえ、家庭の状況に寄り添った対応を行うよう心掛けた。送迎時には明るく話しやすい雰囲気の中で対応し子どもの良いところを積極的に伝えることで、保護者が育児を楽しく感じられるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	全保育士がキャリアアップ研修を受講、さらに外部研修も自らの興味関心に応じて主体的に受講しスキルアップに努めた。些細なことも言葉に出せる雰囲気の職場づくりをし、定期的に話し合う機会を設けることで、より良い保育の実現を心掛けている。

総評
児童数が少なく、個々の児の発達について、全職員で話し合いながら、適切な援助のあり方を模索していくという丁寧な保育を実践することができた。また、おもいっきり遊べるように、室内遊びの際には、それぞれの子どもの興味関心によってスペースを区切ることで、怪我のない安全な保育環境を提供できたと思う。来年度は、児童数の増加が見込まれるが、職員間での情報共有を大切にして、引き続き安心安全な園となるように努めていきたい。